

令和4年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和4年7月5日（火）13：30～14：30 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、井手環境科学研究院長、南川先端工学研究院長、棚瀬人間文化学研究院長、伊丹人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、京樂人間文化学部長、糸島人間看護学部長、八里事務局次長、遠山委員、森委員

欠席者： 矢吹委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、出口高等専門学校開設準備室長、前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第3回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

令和4年度公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会開催結果（書面開催）について、議決結果が報告された。

第3回教育研究評議会の中で質疑のあった未来人財基金に対する寄付者への返礼に係る現行の取組内容について高木財務課長から報告された。

議 題

審議事項

- 1 公立大学法人滋賀県立大学第3期人事計画の改正について
山田総務課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

- 1 学生の退学・休学・復学・除籍について
山根教育・学生支援担当理事より資料に基づき報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・退学、休学の理由について、経済的理由とする者がいるが、コロナの影響か。
→コロナの影響ではない。
- 2 令和4年度 公立大学法人滋賀県立大学特別表彰について
廣川理事長から資料に基づき説明があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・特別表彰の基準について教えてほしい。
→外部資金の間接経費を多く獲得した教員に対する表彰制度。獲得金額を5段階に分けて報奨金を付して表彰している。

獲得金額（間接経費）	報奨金の額
50万円以上 100万円未満	25,000円
100万円以上 300万円未満	50,000円
300万円以上 500万円未満	150,000円
500万円以上 1,000万円未満	250,000円
1,000万円以上	500,000円

- 3 学生表彰について
川分学生・就職支援課長より資料に基づき報告があった。
- 4 学生の課外活動（京滋戦、湖風夏祭）について
川分学生・就職支援課長より資料に基づき報告があった。

前回の教育研究評議会で報告した大学院の在籍学生数の状況について、内訳数の一部に誤りがあったため訂正された。

- 5 『オープンキャンパス2022』の開催について
郡田教務課長より資料に基づき報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・事前予約制とのことであるが、参加定員数（約3,000人）はのべ人数かまたは実数か。
→保護者を除くのべ人数である。複数の学部に予約を行っている者もいる。
 - ・大学院向けのオープンキャンパスについて、人間看護学研究科は個別相談会を実施されるようだが、他の研究科は行わないのか。
→他の研究科については、個別に相談がある時に随時、個別相談を実施している。

- 6 各委員会の結果の概要について
 - (1) 令和4年度第1回男女共同参画推進本部員会議
 - (2) 令和4年度第3回衛生委員会
 - (3) 令和4年度第1回図書情報センター運営委員会
 - (4) 令和4年度第1回内部質保証推進委員会
 - (5) 令和4年度第2回入学試験委員会
 - (6) 令和4年度第1回教務委員会
 - (7) 令和4年度第2回および第3回国際交流委員会

- [主な意見・質疑等]
- ・一般協定と学生の相互派遣協定があったが、どちらの協定更新か。
→今回の協定は、一般協定および学生の相互派遣協定共に、有効期限を自動更新とする旨の協定を締結するものである。
 - ・以前大学院で協定を締結する際、今後、湖南師範大学では他大学との協定は、副学長名で行うと聞いていたが、今回の協定は引き続き学長間の協定なのか。
→今回の協定は、学長間で行うものである。

その他

- 1 令和4年度 JST 女子中高生の理系進路選択プログラムについて
徳満工学部長から資料に基づき、今後の取組内容、取組体制について報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・女子中高生の目線で取組を進めてほしい。
 - ・理系を卒業して、どのような仕事に就けるのか、企業の方から話が聞けるのは素晴らしい取組だと思う。今後、参加する企業が増えれば、もっと素晴らしいものになると思う。